

令和5年 火災発生概況

令和5年中における当消防本部管内の火災発生件数は、23件となっており、建物火災10件、車両火災5件、その他の火災8件となっています。

町別では、遠軽町で11件、湧別町で8件、佐呂間町で4件の火災が発生しています。

火災損害状況については、建物焼損床面積246㎡、建物焼損表面積21㎡、車両焼損台数7台で、損害額は9,779千円の大変貴重な財産が失われ、また、火災による死者は1人で、負傷者は3人となっています。

月別では、3月3件、4月4件、5月4件の計11件と春に年間の約半数が発生しており、1か月当たりの火災発生件数は、1.9件となっています。

用途別では、建物火災のうち住宅火災が高い割合を示しており、5件発生しています。

原因別の件数が多い順にみると、「ごみ焼き」3件、「こんろ」2件、「たばこ」2件、「ローソク」2件と、多くは火気の取扱いの不注意や不始末から発生しています。

当消防本部管内では、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化され10年以上が経過し、交換時期を超えた機器が多く存在していることが予想されます。また、設置状況アンケートの結果から定期的に点検を行っている世帯は約3割で、電池切れや故障も確認されています。全国において住宅火災による死者の半数が「逃げ遅れ」であり、大切な家族の命を住宅火災から守るためにも、住宅用火災警報器を設置し適切な維持管理を行う必要があります。

今後、消防機関といたしましては、より一層の住宅防火対策の推進、火災予防啓発活動の強化を図るとともに、住民一人ひとりの防火意識の高揚に努めるものであります。

近年の火災発生状況 (令和3年～令和5年)

年別	出火件数								焼損状況				損害額(千円)	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員数
	建物				林野	車両	その他	合計	床面積(㎡)	表面積(㎡)	林野(a)	車(台)						
	全焼	半焼	部分焼	ぼや														
R5	3		2	5		5	8	23	246	21		7	9,779	1	3	12	8	10
R4	2		1	3		4	4	14	300	61		5	42,646	2	3	10	7	13
R3	5	2	4	2		4	6	23	2,259	43		6	105,396		4	17	6	12

身近にある火災の原因

<p>放火・放火疑い</p> <p>家の周りに置かれた不用品やごみステーションなどに放火される火災が全国各地で発生しています。普段から放火されない環境作りを行いましょう！</p> 	<p>たばこ</p>  <p>たばこの小さな火種は、小さな火でもくすぶり続け、数時間経過してから燃え上がることがあります。たばこの始末は喫煙者のマナーです！</p>	<p>コンロ</p> <p>鍋を火にかけていることを忘れてしまい、気づいたところには鍋から炎が上がり、火災に至るケースが特に多いです。火のついたコンロから離れるときはしっかり火を消しましょう！</p> 
<p>電気</p> <p>電気配線のショートやトラッキングによりコンセントから出火することがあります。定期的に清掃を行いましょう！</p> 	<p>火遊び</p>  <p>ライターやマッチは子どもの手の届かないところで保管しましよう！小さな子は好奇心旺盛なので特に注意しなければなりません！</p>	<p>ストーブ</p> <p>ストーブの周りに燃えやすいものは置いていませんか？また、適切に使用できていますか？ストーブから火災に至るケースは毎年のように発生しています！ご自宅のストーブを今一度、点検しましよう！</p> 